

'00

# 第九

のべおか第九だより(号外)  
2000年7月7日(金)

発行 のべおか「第九」を歌う会  
事務局(延岡総合文化センター内)  
882-0852 延岡市東浜砂町611番地2  
電話(0982)22-1855

## 訪問団結成式(7月2日)

前回のオーケストラとの音合わせ、いかがでしたか?今日の第九だよりはそのときの様子を掲載します。

### 訪問団長あいさつ

ただいまご紹介ありましたように、今回のメドフォード公演の団長を仰せつかりました櫻井です。メドフォードとの関係はもうみなさんご承知のとおりでございますが、今年は姉妹都市になって20年という節目の年になるわけです。それに加えて、のべおか「第九」を歌う会が15周年、延岡フィルハーモニーが創立されて10周年、このトリプルの節目の年ということで、巡り合わせというのでしょうか。あわせて2000年というミレニアムの年でもあるという4つの節目が重なっているわけです。

そういうすばらしい年を記念してメドフォードで「第九」を歌おうという声があがりまして、しかも延フィルのみなさんの演奏で歌うという夢のような話がこのように現実化しました。



230名という延岡からの訪問団がメドフォードを訪れるということは、延岡にとりまして歴史に残る快挙です。アメリカに行って歌うわけですから、「延岡ここにあり」という意気を示す世界に向けて情報発信できるすばらしいチャンスだと思っております。

しかしながら、この催しを大成功させなければならないわけですので、そのためには我々訪問団すべての人がサポーターの人を含めまして延岡の代表であるという誇りと自覚を持って、心を一つにして今回のイベントに取り組まなければならない、目的意識を持って大成功させなければならないという使命感に燃えていただければと思います。その第一関門が今度のプレコンサートであろうと思っております。

成功という結果は歌が終わってから出るわけでございます。どうか気を引き締めていただいて、終わって胸を張って

帰ってこられるような素晴らしいイベントとして歴史に残る事業を大成させたいと思っております。

さらなるご協力を心からお願い申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

### 末廣先生ごあいさつ

大変壮大な計画をお立てになって、いよいよそれが実現するわけで、私はひょんなきっかけでお手伝いすることになりましたが、うれしく誇らしく思っております。

私、音楽家ですので、音楽の話をひとつだけします。音楽の歴史をひもといていきますと、音楽の有りようが大きく転換するときがあるんですね。だれかの所有物だった音楽が民衆へ向けた何かのメッセージを持った音楽へと転換していく転換点になるのがやっぱりベートーベンなんですね。とっても極端な断言になりますけど。なかでも「第九」交響曲は史上初めて言葉でメッセージを伝えようとした作品なんですね。直接言葉で訴えかけるのは合唱団の皆さんなわけで、オーケストラの皆さんは黙々と下を向いて演奏しているわけですが、世界で初めて言葉でメッセージ



を伝えようとした、いわばエポックメイキングな大作なわけなんです。

内容はみなさんご存じのとおりで、キリスト教的な背景を持ちますが、人類愛を歌っているわけですね。“手を取り合って生きていこう”と、とっても簡単に言ってしまうとそういうことを伝えようとしているのです。私、常々思いまして日本では特別な意味合いで演奏され続けていますね。1年で何百回と第九が演奏される。第九というと本当に誰でも知っているんですね。第九というとベートーベンをさすようになっていく。でもそれらが本当に音楽に見合った演奏をしているのだろうか、と私は時々思います。それは演奏のレベルがどうこうということでもありますが、音が低いとかひっくり返ったとかソプラノの上のアーがきついかか死にそうになるとか、そんなことがクリアされたかどうかという意味ではなくてメッセージを持って史上初めて出てきた交響曲を本当にそういうふうにとらえて演奏しているのだろうか、と。

ですから、舞台の上からお客さんに“みなさん、もっと仲良く平和に生きていきましょう”とメッセージを投げかけるわけですが、それらのメッセージはなによりまず自分自身に投げかけられなくてははいけない。

だからここにいる皆さん方は私を含めて今日この話を聞いてからあと、絶対に差別をしてはいけない、仲良く生きていかなければならない...といろんな勝手なことを言いましたけれど、そういったことを自分のメッセージとして裏返って捕らえていかなければ第九を演奏する意味がない。オーケストラの皆さんは言葉がないので、音だけ追いかけていて何をやっているのかピンと来ない点があるかもしれませんが、オーケストラも合唱団も大変苦勞して演奏会をやるようとしています。まだ問題がたくさんあって、十分な良い演奏会が出来るか不安な面もおありでしょうけれど、何よりそんなことよりもそういったことを自分に課して演奏に取り組めるかどうか、こっちのほうが私は大問題のような気が最近します。

まず自分自身、メドフォードに着いて、メドフォードのお客様に聞かせるより自分自身に良い演奏をできるようにありたいものだ、というふうに思ったりします。第九は苦勞して演奏すべきなんです。それと滅多に演奏してはいけません。私はそう思います。それぐらい人類にとって大事な作品です。ですから放っておいても世界中で演奏され続けている理由は、直感的にみんながそういうふうを感じているから、そういうレベルに作品ができあがっているから。本当に希有な得難い作品なんです。

これが終わりましたも合唱団の皆さんは年末に合唱がまたおありでしょう。来年もおそらくするでしょう。再来年もずっと続けていくでしょう。

“毎年毎年40回第九を歌いました”はあまり意味がない。1回の演奏会でこういったことを考えたのか、自分自身に振り返ったのかということは今から先やって生きていけたら、音楽は自分から離れたものではなくなるんですね。自分自身の生き方になってくる。そういうふうになるといいなと思いました。ちょっと長くなりましたが、本当に良い演奏会に。私も汗びっしょりかいて頑張ろうと思いますので、涼しい顔して歌わずに私と一緒に汗びっしょりかいて私と一緒に曲を終えてください。

もうひとつ三上先生が作られた曲、私、何回も日本初演という曲をやってきましたけれども、かなり良い作品ですね。残っていくべき作品と思っています。ですから口答で申し上げて了解を得ているのですが、メドフォードの演奏会を終えても三上先生の作品を演奏会であちこち持っていきたいな、という素晴らしい作品ですので、合唱団のみなさんもいっしょに楽しんでいただいて、オーケストラのみなさん、うかうかしているといひ音しますので、元に戻らないように一緒にがんばっていきましょう。

じゃ、良い演奏会にしましょう。ありがとうございました。



## @末廣先生の指導(7月2日)

その付近の注意... 総合・ ソプラノ・ アルト・ テノール・ バス  
その部分の注意... 総合・ ソプラノ・ アルト・ テノール・ バス  
...お話

(ほかのパートの注意でも関連があります。全部読んでください。)

- 238 【Freu-de!~】 みなさんね、ちょっと体重が重いんですけどね。もうちょっと軽やかに。もうちょっと歡ばしく聞こえてほしい。ドスが効いてる（笑）。
- 284 【Ja,】 もっと早くかみついてほしいんですよね。少し出が遅いです。
- 323 【steht vor~】 大変いい声です。もうちょっと語尾を頑張ってください。それに命をかける方がいてほしいんですけど。
- 330 【Gott.】（伸ばす長さは）気分ですね。なるべく長いほうがいい（笑）。
- 543 【Freu-de,~】 みなさん、顔が怖いですよ（笑）。悲惨な顔していますよ。もっと歡びにあふれた顔で。
- 552 【tre-ten】 “-ten” のツェーの音がありますね。これをもうちょっと強くください。
- 602 【Welt!】 “We……It!” ここまで（伸ばす）。最期の音だけ保ってください。decresc.せずに。見違えるように素晴らしいんですが、なにかあったんですか？…とっても良かったのでもう一回！
- 603 【Seid um-】 “ザ~” って出てこないで。“パーン” って破裂するように、きらびやかに。
- 631 【Ihr stürzt~】 合唱の皆さん、もったいぶらないでさっさとcresc.してください。cresc.なんですけどね、2拍目が頂点になるようにしてください。
- 639 【Such' ihn】 “ズー” と言っている時間をもうちょっとください。……何回も練習しました。“イー” って先に上がらないように。“イン” という言葉じゃなくて、“イー”、“h” がはいってる。……“イー” 腰が重い、皆さん。もっと上の音にはサッと上がるように。





728 【Welt!\_~】 ソプラノの皆さん、最後のアをずっと伸ばしていると、語尾がなんにもないですから。“...エールトゥ！”“lt!”が大事です。

758 【ein\_】 アルトのみなさん、ツェーに聞こえるんですけどね。ツイスの音。

831 【al-le】 合唱のみなさん、多少ブレーキがかかっています。同じテンポで歌いましょう。

903 【Welt!】 “ベールト！”（伸ばす）。2分音符。

【お話】...お疲れさまでした。来週、本番ですよ？（笑）。みなさん、逃げないように。お疲れさまでした。



---

## 編集後記

さて本番は明日です！あっという間にプレコンサートの日が来てしまいましたね。この調子でいけばきっと大成功です。...チケットはどれくらい売れているのでしょうか。ここへきて心配になってきました。それと、舞台の上でのあの衣装、暑いだらうなぁ～。【munenori@horita.gr.jp】